

イロハしりとり

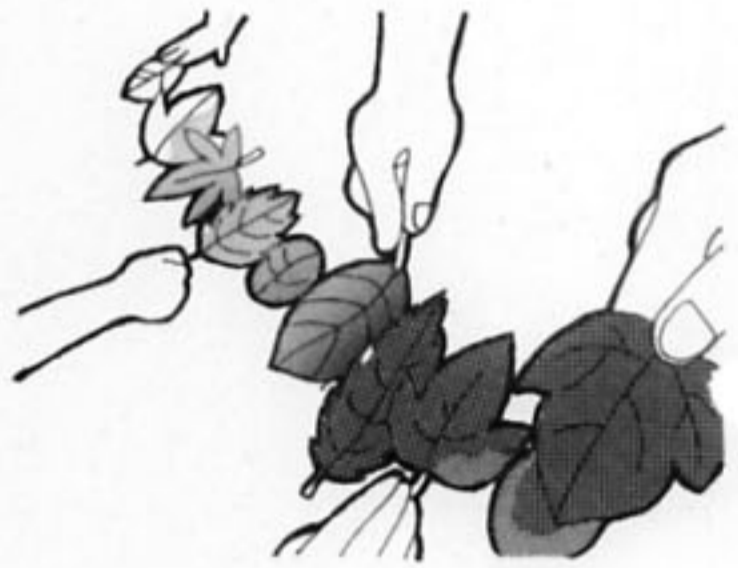
紅葉する葉っぱは、一枚一枚微妙に色合いが違ってきます。一枚の葉っぱの中に様々に色づいている落ち葉もあり、集めて並べると微妙な色合いのグラデーションが楽しめます。実際に並べてみると、その楽しさにびっくりすることでしょう。

ねらい

葉の色の多様性に気づく。色の種類や、一枚の葉っぱの中の色の配置など、葉っぱと色の関係(状態)を楽しめるようになる。葉っぱの多様性にも気づく感性を養う。

達成目標

- ・葉っぱにはどんな色があるか、説明できるようになる。
- ・一枚の葉っぱの中にどんな色があったか説明できるようになる。
- ・葉っぱと色との関係について、気づいたことを表現できるようになる。



導入

「秋の紅葉は何色ですか？周りを見てありったけの色を出してみよう」「それらの色は落ち葉の中にあるかな？探してみよう」一人10枚ずつ拾ってきてもらう。

展開

「みんなが持ってきた葉っぱで色のしりとりをします」一人が一枚の葉っぱを中央に置く。次の人は置かれた葉っぱの色と似た色の葉を（自分の葉っぱの中から）選び、並べて置く。交代で順番に置いていく。横だけでなく、縦や斜めに置いてもよい。

まとめ

できた作品をみんなで鑑賞する。「この作品の中に秋の紅葉の色がすべて入っています」周辺の山の色や紅葉している枝先の色のグラデーションと比べてみる。一緒に作業してきた感想や気づいたことを聞く。

実施のポイント

葉っぱの並べ方については、最初はゆっくりと、どうしてこの葉がここにくるのか、確認しあいながら出していくとよい。だんだんスピードアップできる。葉っぱを置いていくのは順番を決めてもいいし、順不同でもよい。順番で実施するときには、「パスあり」のルールを入れると心の負担が軽くなる。

評価の視点

適当に配置するのではなく、色のバランスなどを真剣に考えていたか。作業を通して、葉っぱと色との関係について何か発見することができたか。

発展・応用

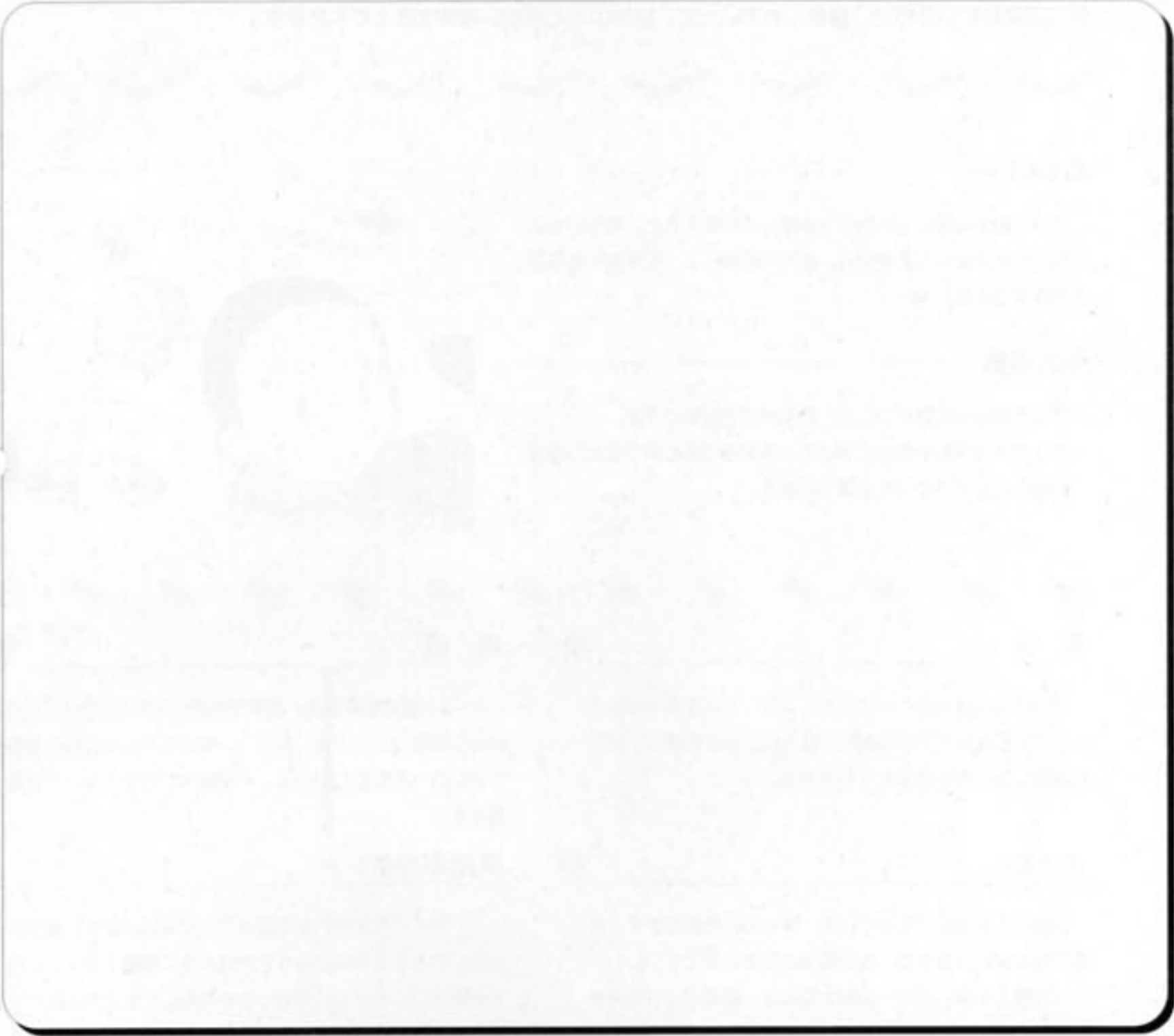
1種類の葉でやってみるもの面白い。じゅうたん状ではなく、列にしてみたりしてもよい。紅葉の季節ばかりでなく、新緑の季節にやってみても面白い。

参考文献

オリジナル/「山のふるさと村ビジターセンター
平成12年度環境教育活動報告書」

- ◆所要時間 40分
- ◆人数 10~40人
- ◆関連科目 図画工作、理科
- ◆焦点を当てる能力 見つける、比べる
違いを見出す
- ◆準備するもの 落ち葉を並べる台(模造紙布)
スプレーのり
- ◆安全のポイント 葉っぱを集めに行くときの
範囲を指定しよう。

◆気に入った葉っぱを一枚スケッチしてみましょう。 年 月 日 名前



◆葉っぱの色について、感じたこと、発見したことを書いておきましょう

Horizontal lines for writing notes about the leaf's color and observations.